



第 41 号

発行者
社団法人
日本プールアメニティ施設協会

〒170-0013 豊島区東池袋3-8-5-206
URL <http://www.jpaa.com/>
E-Mail jpaa@sepia.ocn.ne.jp
TEL 03-6907-8977
FAX 03-6907-8978

プール施設管理士講習会 平成19年度開催決定

プール施設管理士講習会を、平成19年度より開催することに決定しました。

ここ2～3年、多くのプール施設の方から開催要望がきております。プール設備機器取扱い者に対する講習会を「プール施設管理士講習会」として平成19年度より開催することに決定し、現在「マニュアル」作成等を進めています。

プール施設管理士講習会は、プール施設を日常管理する方、プール施設の管理運営に携わる方を対象に、プール施設の設備機器の知識の習得とその向上により、日常（点検）業務のスキルアップを求め、現場での対応かメーカーへの対応依頼か等の判断能力を獲得し、プール施設設備機器類の性能・機能を維持継続させ、プール施設の計画的な管理運営の習得を目標としています。

平成19年度の開催日程は、東京、大阪を中心に地方を含めて、5回から6回の開催を目標に計画しています。具体的なスケジュールは、3月末までに決定しホームページにて発表の予定です。

平成12年度まで開催されていた「メンテナンス技術者講習会」が、メーカーサービスマン向けの講習会でありましたが、「プール施設管理士講習会」はプール施設を日常管理する方、管理運営に携わる方を対象にしています。

講習会での講義項目

- ・水質管理の要点
- ・プール施設の設備、周辺機器全般（但し空調及び照明を除く）の知識
- ・機器の点検（管理）のポイント
- ・プール施設の安全及び衛生点検
- ・その他

プール衛生管理者講習会 受講修了者5,700名を突破

平成4年4月28日付、厚生省衛生局長通知及び平成4年12月11日付、生活衛生局企画課長通知に基づき協会が開催するプール衛生管理者講習会は、平成4年12月に東京で第1回を開催して以来、平成18年9月の福岡での開催で計87回の開催となり、その受講修了者数は5,731名に達しました。

これは関係各位のご支援ご協力の賜物として深く感謝する次第です。

プール衛生管理者講習会について

遊泳用プールの衛生管理者として、上記局長通知及び課長通知は、「プールにおける安全及び知識及び技能」として次の5点を求めています。

- ア プールの水質管理
- イ プール設備の維持管理
- ウ プール施設内の清掃
- エ プールにおける疾病とその予防
- オ プール施設内での事故防止と救護対策

協会は「プール衛生管理者講習会」を、上記5点をメインにしてプールの衛生と安全、施設やその運用についての全般的な知識と技能を、講義を主体に最新の情報をもとに習得されるよう開催しています。

平成18年度 及び平成19年度	プール衛生管理者講習会	スケジュール
第88回 東京	平成19年	2月15日・16日 日本教育会館
第89回 大阪	平成19年	3月8日・9日 大阪国際交流センター
第90回 東京	平成19年	5月24日・25日 日本教育会館
第91回 大阪	平成19年	6月7日・8日 エル大阪
第92回 仙台	平成19年	9月13日・14日 (会場未定)
第93回 福岡	平成19年	9月27日・28日 (会場未定)
第94回 東京	平成20年	2月14日・15日 日本教育会館
第95回 大阪	平成20年	3月6日・7日 (会場未定)

※ 会場の都合により、日程及び会場は変更されることがあります。

「プールの安全標準指針」策定へ

昨年7月31日、埼玉県ふじみ野市の市営プールでおきた吸込み死亡事故を受け、関係省庁（内閣官房 総務省、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省）は、8月9日「プールにおける事故対策に関する関係省庁連絡会議」を設置し、翌10日「プールにおける安全確保のための緊急アピール」を全国のプール施設に発し、緊急自主点検の実施とその点検結果を入口等に掲示するよう協力要請した。

同月14日には緊急自主点検フォローアップ調査を21日付けで実施するよう協力要請し、同月30日にその調査結果を公表し、今後の取り組みとして「プールの安全標準指針（仮称）」を年内にとりまとめ、プール設置管理者に通知することを申し合わせた。

関係省庁連絡会議は、（財）日本体育施設協会、（社）日本公園緑地協会をオブザーバーに「プールの安全標準指針（仮称）策定委員会」を11月、12月に数回開催し、最終的に12月27日に「プールの安全標準指針（案）」を、取りまとめた。

12月28日にパブリックコメントを実施し、平成19年2月下旬には指針をとりまとめの上プール設置管理者へ「プールの安全標準指針」を発出する予定。

これを受け関係各省は「局長通知（案）」を作成、パブリックコメント実施後、「局長通知」を発出する予定と思われる。

<参考> 8月30日の調査結果（概要）

公立・民間の計42,789プール施設中		
緊急自主点検実施プール施設	42,184	(98.6%)
点検結果掲示プール施設	31,223	(73.0%)
問題のあったプール施設	4,703	(11.0%)
民間 4,768プール施設中		
緊急自主点検実施プール施設	4,726	(99.1%)
点検結果掲示プール施設	4,034	(84.6%)
問題のあったプール施設	630	(13.2%)

「プールの安全標準指針（案）」の内容

- ・プールの安全利用のための施設基準（プール施設の事故防止対策と排（環）水）
- ・事故を未然に防ぐ安全管理（管理体制、点検及び監視、緊急時対応、監視員等の教育・訓練、利用者への情報提供）

※ 詳細は、国土交通省・文部科学省のホームページのパブリックコメントを参照下さい。

プール関連機器規格認定制度 のご案内

(社)日本プールアメニティ施設協会では、平成13年7月28日付厚生労働省健康局通知「遊泳用プールの衛生基準について」の改正に伴い、平成15年4月1日より、本協会の「プール関連機器規格認定制度」を改定いたしました。

については、プールの循環浄化装置及び高度処理装置を選定する場合は、本協会の認定規格をご参考に検討願います。

制度の趣旨

平成4年4月の厚生省生活衛生局通知（「遊泳用プールの衛生基準について」）から、プール水の水処理がこれまでの循環装置プラス塩素消毒から、オゾン浄化装置、赤外線照射装置、膜処理装置等を組み込んだ多種多様な高度処理システムの採用が可能となった。

従来これらの機器類は、各製造者が独自で性能表示や検査基準等を規定してきたが、使用する側のプール運営者が機器の選定・採用からメンテナンスに至るまで、公正な基準により比較検討できるように、水処理装置の規格基準を設定・表示方法も統一化し、さらに一定水準以上の機器を認定し、性能面、保守・維持管理面を含め経済的で衛生的な機器の選択を容易にした制度を発足させるものである。

尚、平成13年7月の厚生労働省健康局通知・健発第774号「遊泳用プールの衛生基準について」による改正を反映したものである。

認定機器貼付用認定マーク (認定会社別)



カタログ添付用認定マーク (各社共通)



1.1 循環浄化装置

項目	内容
1	設置設計基準が、以下の範囲にあること。
入口最小濁度	2度以上
出口濁度	0.3度以下
2	以下の仕様が完成図書、取扱説明書等で明確にされていること。
概要の表示	<ul style="list-style-type: none"> ①ろ過方式（砂式、珪藻土式、カートリッジ式、繊維ろ過式、その他） ②外形寸法：W×L×H ③重量：装置重量（Kg）／運転重量（Kg） ④塗装基準：塗装材質／塗装色（使用規格を表示のこと） ⑤腰部材質：タンク／架台／配管（使用規格を表示のこと） ⑥使用条件： <ul style="list-style-type: none"> (イ) 使用圧力 (ロ) 周囲温度 (ハ) 周囲湿度 (ニ) 試験圧力 (ホ) 設置場所（屋内・屋外） (ヘ) 流体 ⑦使用電圧周波数：AC200V、50Hz／60Hz
装置仕様	<ul style="list-style-type: none"> ①主要機器の仕様・数量： <ul style="list-style-type: none"> (イ) ポンプ類－材質・能力・数量 (ロ) タンク類－材質・寸法・内面塗装・数量

(ハ) 配管-材質・接続方法 (フランジ) ・パッキンシール材質 (仕様規格を表示のこと)
 (ニ) 試験・検査-ミルシート(ステンレスの場合) 耐圧テスト等自主検査報告書

設置設計基準値

- ①L.V
- ②ろ材
- ③ろ過助剤 (使用の可否)
- ④分画特性

その他

- ①運転及び取扱上の安全性を考慮した注意事項 (PL法)
- ②保守点検内容
- ③据付工事上の注意事項

1.2 オゾン浄化装置

項目	内容
1	以下の仕様が完成図書、取扱説明書等で明確にされていること。
概要の表示	1) システム全体仕様 ①外形寸法：W×L×H ②重量：装置重量 (kg) / 運転重量 (kg) ③消費電力/電源容量： k W / k V A ④電源：A C 100V / 200V、50Hz / 60Hz ⑤使用条件：(イ) 設置場所 … (ロ) 周囲温度 … (ハ) 周囲湿度 …

2) オゾン発生装置

- ①発生方式：無声放電式 又は 電解式
- ②オゾン発生量： g / h
- ③オゾンガス濃度： g / m³ (N)
- ④原料：空気 又は 水道水 (水)
- ⑤消費電力： k W

3) オゾン反応処理装置

- ①構成：オゾン反応設備、オゾンガス注入器、排オゾン処理設備
- ②材質：
- ③処理水量： m³ / h
- ④反応槽(気液分離塔)有効容量：
- ⑤オゾンガス注入方式：
- ⑥排オゾン処理方式及びオゾン分解剤交換周期：
- ⑦消費電力： k W

4) 電気計装

- ①電気設備技術基準に準拠すること
- ②ELB、電圧計、電流計又は電力計等の有無及び種類を明記すること
- ③異常表示及び警報出力端子があること
- ④処理水の状況が確認できる計器があること (流量計又は圧力計他)

5) その他下記内容が記載されていること

- ・運転及び取扱上の安全性を考慮した注意事項 (PL法)
- ・保守点検内容
- ・据付工事上の注意事項
- ・オゾンガス漏れ時の対処方法 (プール内、機械室内)

1.3 紫外線照射装置

項目	内容
1	以下の内容が完成図書、取扱説明書等で明確にされていること
概要の表示	①装置形式：内照式又は外照式 ②外形寸法：W×L×H ③重量：装置重量 (Kg) / 運転重量 (Kg) ④塗装基準：塗装材質/塗装色 (使用規格を表示のこと) ⑤要部材質：紫外線照射部/内照型：SUS304又はSUS316L 外照型：光透過性フッ素樹脂 ⑥使用条件：使用圧力 0.49MPa以下 周囲温度 (0~35℃) 周囲湿度 (95%RH以下、結露しないこと) 設置場所 (屋内) 使用電圧周波数：AC100V/200V、50Hz/60Hz

その他

- ①運転及び取扱上の安全性を考慮した注意事項 (PL法)
- ②保守点検内容
- ③据付工事上の注意事項

2

設置設計基準

		内照型殺菌装置	外照型殺菌装置
照射部本体	流体	循環濾水	
	装置構造	紫外線が外部に漏れない密閉構造	
	配管接続規格	JIS10Kフランジ	
	石英保護管 洗浄方法	自動又は手動 (常に出来ること)	定期的に薬液洗浄 (年1回)
制御盤	紫外線ランプ 玉切れ警報付き	紫外線ランプ 点灯表示警報付き	
	警報一括無電圧接点出力があること		
	運転時間積算計があること		
	アース・ELBがあること		

3 その他

処理水50m ³ /h (UV透過率100%) の装置の仕様基準が以下の項目を満たしていること		
装置使用電力	0.7 k W以上	0.6 k W以上
紫外線ランプ寿命	1年 9,000時間以上 (連続点灯時)	
紫外線照射量(ランプ寿命時)	30m W · S / cm ² (30mJ / cm ²) 以上	

1.4 膜処理装置

項目	内容
1	以下の仕様が完成図書、取扱説明書等で明確にされていること。
概要の表示	<p>①外形寸法：W×L×H</p> <p>②重量：装置重量 (Kg) / 運転重量 (Kg)</p> <p>③塗装基準：塗装材質 / 塗装色 (使用規格を表示のこと)</p> <p>④要部材質：膜 (PE・PAN) / 配管 (SUS/PVC) / フレーム (SS) (使用規格を表示のこと)</p> <p>⑤使用条件：(イ) 系内圧力 (0.297 Mpa以下) (ロ) 周囲温度 (0~35℃) (ハ) 周囲湿度 (95%RH以下、結露しないこと) (ニ) 設置場所 (屋内)</p> <p>⑥使用電圧周波数：AC100V / 200V、50Hz / 60Hz装置仕様</p>
装置仕様	<p>①設置条件</p> <p>(イ) 設計圧力 / 温度</p> <p>(ロ) 使用圧力 / 温度</p> <p>(ハ) 試験圧力</p> <p>(ニ) 流体</p> <p>(ホ) ろ過流量</p> <p>②主要機器の仕様・数量</p> <p>(イ) ポンプ類 材質 (SUS)、能力、数量</p> <p>(ロ) タンク類 材質 (SUS/PVC)、寸法、容量、数量</p> <p>(ハ) 膜 材質 (PE・PAN)、分画特性 初期純粋流束 (Flux) 数量</p> <p>(ニ) 配管 材質 (PVC/SUS)、接続方法、</p> <p>(ホ) 手動弁 材質 (PVC/SUS)、形式、 (使用規格を表示のこと)</p> <p>(ヘ) 自動弁 材質 (SUS)、形式</p> <p>(ト) 配管取合 フランジ、ネジ、材質</p>
装置設計基準	<p>設計が以下の範囲にあること。</p> <p>①分画特性 アブソリュート (0.1) μm ノミナル (0.01~0.03) μm</p> <p>②膜 耐塩素性の材質 (PE・PAN) であること</p> <p>③ベッセル 耐塩素性があり、内部が見えること</p> <p>④洗浄方法 自動洗浄やエアスクライビング及び薬品洗浄方式が表示されていること</p> <p>⑤膜間差圧 (0.1) kg/cm²・f ~ (0.5) kg/cm²・f の範囲にあること</p>

電気計装

- ①制御盤
 - ・電気設備技術基準に準拠
 - ・受電ランプ、アース、ELB があること
 - ・起動方式：7.5kW以上は、人-Δ となっていること
 - ・感電防止板があること
 - ・電圧計 (一次側) ・電流計 (0.75kW以上) があること
 - ・一括警報、端子 (無電圧接点) があること
 - ②装置内配管 ・配線電気設備基準に準拠
 - ③運転方法 ・自動メインの循環浄化装置とのインターロックをとり、タイマー式逆洗洗浄であること
 - ④計測器 温度、圧力、流量、排水量積算があること
- その他
- ①運転及び取扱上の安全性を考慮した注意事項 (PL法)
 - ②保守点検内容
 - ③据付工事上の注意事項

1.5 電気分解式次亜塩素酸ナトリウム生成装置

項目	内容
1	以下の内容が完成図書、取扱説明書等で明確にされていること。
概要の表示	<p>①方式 電解法による次亜塩素酸ナトリウム生成</p> <p>②外形寸法 W × L × H</p> <p>③重量 装置重量 (Kg) / 運転重量 (Kg)</p> <p>④消費電力 / 電源容量 kW / KVA</p> <p>⑤電源 AC〇〇V 50Hz / 60Hz</p> <p>⑥使用条件 周囲温度 MAX 周囲湿度 MAX 設置場所 屋内</p> <p>⑦補給水入口径 入口 JIS表記</p>
装置仕様	<p>①原料材消費量 電解促進剤 (食塩) 〇〇Kg / 日 原料 食塩 (塩化ナトリウム99%以上で添加物を含まないもの)</p> <p>②生成量と濃度 生成量 〇〇g / 日または〇〇リットル / 日 (次亜塩素酸濃度 〇〇%または〇〇mg / リットル)</p> <p>③補給水温度 35℃以下</p> <p>④要素部品材質 電気分解電極は、チタン・白金等の不溶性電極を使用し、その電極成分が溶出しないこと。</p> <p>⑤排気装置の有無</p> <p>⑥電極の洗浄方法</p>

電気計装

電気設備技術基準に準拠すること。

- ①制御表示 受電ランプ、アース、漏電防止装置があること。一括警報用の端子（無電圧接点）があること。
電気分解の運転状況が確認できる表示があること。
- ②装置内配線 配線電気設備基準に準拠すること。
- ③安全装置の有無 水素検出装置等の安全装置の有無
- ④運転方法 自動メイン循環浄化装置とのインターロックが取れること。

その他

- ①運転及び取扱い上の安全性を考慮した注意事項（PL法）
※水素は可燃性ガスであり爆発範囲が下限4.0%～上限75%と広いので安全対策が必要であることを明記すること
- ②保守点検内容
- ③据付工事上の注意事項

(社) 日本プールアメニティ施設協会・認定機器一覧表

平成18年11月28日現在

新認定番号	会社名	型式	型番
JPAA-01-001	富士電機システムズ(株) (連絡窓口) 第4営業本部 営業統括部 TEL:03-5435-7065	プール水浄化用オゾンナイザ	POL-250N
JPAA-01-002			POL-450N
JPAA-01-003			POL-600N
JPAA-01-004			POL-1200N
JPAA-02-001	ミウラ化学装置(株) (連絡窓口) 東京営業部 TEL:03-3916-1200	可逆式珪藻土ろ過 A-1フィルター	PA40-204AT
JPAA-02-002			PA60-206AT
JPAA-02-003			PA100-210AT
JPAA-02-004			PA150-215AT
JPAA-02-005		砂ろ過装置	MS-II SAT
JPAA-02-006			MS-III SAT
JPAA-02-007			MS-IV SAT
JPAA-02-008			MS-V SAT
JPAA-02-009		可逆式珪藻土ろ過 A-1フィルター	PA40-204AT
JPAA-02-010			PA60-206AT
JPAA-02-011			PA12-202AT
JPAA-02-012			PA24-203AT
JPAA-03-001	住友精密工業(株) (連絡窓口) 環境システム事業部 営業推進部 TEL:03-6220-0725	オープン反応処理装置	SPA-5A
JPAA-03-002			SPA-7A
JPAA-03-003			SPA-10A
JPAA-03-004			SPA-13A
JPAA-03-005			SPA-17A
JPAA-03-006			SPA-27A
JPAA-03-007			SPA-37A
JPAA-03-008			SPA-50A
JPAA-03-009			SPA-80A
JPAA-03-010			SPA-100A
JPAA-03-011			SPA-140A
JPAA-03-012			SPA-17AOP
JPAA-03-013			SPA-27AOP
JPAA-03-014			SPA-37AOP
JPAA-04-001	千代田工販(株) (連絡窓口) UVシステム事業部 TEL:03-3575-0573	紫外線殺菌浄化装置 フロンライザ	FDL-6
JPAA-04-002			FDL-10
JPAA-04-003			FDL-12
JPAA-04-004			FDL-14
JPAA-04-005			FDL-16
JPAA-04-006			FDH-8
JPAA-04-007			FDH-12
JPAA-04-008			FDH-16
JPAA-04-009			FDH-22
JPAA-04-010			FDH-26
JPAA-05-001	ヤマハ発動機(株) (連絡窓口) プール事業部 TEL:053-594-6512	全自動砂ろ過装置	YSF-10T
JPAA-05-002			YSF-20T
JPAA-05-003			YSF-40T
JPAA-05-004			YSF-60T
JPAA-05-005			YSF-80T
JPAA-05-006			YSF-100T
JPAA-05-007			YSF-120T
JPAA-05-008			PSI-60T
JPAA-05-009			PSI-80T
JPAA-05-010			PSI-100T
JPAA-05-011			PSI-120T
JPAA-05-012			YSF-5T-A
JPAA-05-013			YSF-10T-A
JPAA-05-014			YSF-15T-A
JPAA-05-015			YSF-20T-A
JPAA-05-016			YSF-30T-A
JPAA-05-017			YSF-40T-A
JPAA-05-018			YSF-60T-A
JPAA-05-019			YSF-80T-A
JPAA-05-020			YSF-100T-A
JPAA-05-021		YSF-120T-A	
JPAA-05-022		YSF-5T-M	
JPAA-05-023		YSF-10T-M	
JPAA-05-024	YSF-15T-M		
JPAA-05-025	YSF-20T-M		

新認定番号	会社名	型式	型番
JPAA-06-001	栗田工業(株) (連絡窓口) 機器メンテ営業二課 TEL:03-3347-3547	全自動砂式プール循環 浄化装置	KPF-LA-2
JPAA-06-002			KPF-LA-3
JPAA-06-003			KPF-LA-4
JPAA-06-004			KPF-LA-5
JPAA-06-005			KPF-Lb-2
JPAA-06-006			KPF-Lb-3
JPAA-06-007			KPF-Lb-4
JPAA-06-008			KPF-Lb-5
JPAA-07-001	三菱電機プラントエンジニアリング(株) (連絡窓口) 社会システム営業第二課 TEL:03-5827-6326	オゾンプール浄化装置	MP20T-NPV
JPAA-07-002			MP40T-NPV
JPAA-07-003			MP60T-NPV
JPAA-08-001	三菱レイヨンエンジニアリング(株) (連絡窓口) アクア事業部 アクアシステム部 TEL:03-5495-3287	膜処理装置	SAS2401
JPAA-08-002			SAS2402
JPAA-08-003			SAS2403
JPAA-08-004			SAS2404
JPAA-08-005			SAS2405
JPAA-08-006			SAS2406
JPAA-08-007			SAS2407
JPAA-08-008			SAS2410
JPAA-09-001	日機装エイコー(株) (連絡窓口) エンジニアリンググループ TEL:042-390-6540	砂ろ過装置	SFF-11AP
JPAA-09-002			SFF-14AP
JPAA-09-003			SFF-16AP
JPAA-09-004			SFF-19AP
JPAA-09-005			SFF-21AP
JPAA-09-006			SFN-19AP
JPAA-09-007			5D-ST16AP
JPAA-10-001	(株)三協 (連絡窓口) 技術部設計課 TEL:0568-28-1771	自動砂式循環ろ過装置	NB-5
JPAA-10-002			NB-6
JPAA-10-003			NB-7
JPAA-10-004			NB-8
JPAA-10-005			NB-9
JPAA-10-006			NS-1
JPAA-10-007			NS-2
JPAA-10-008			NS-3
JPAA-10-009			NS-4
JPAA-11-001	三洋電機(株) (連絡窓口) 営業開発本部アクア営業部 TEL:03-5803-3555	電気分解式次亜塩素酸 ナトリウム生成装置	ACS-P1010
JPAA-11-002			ACS-P510
JPAA-11-003			ACS-P310
JPAA-11-004			ACS-PB1010
JPAA-11-005			ACS-FB3010
JPAA-11-006			ACS-FB610
JPAA-11-007			ACS-HB210
JPAA-11-008			ACS-JB450S
JPAA-11-009			ACS-B400
JPAA-11-010			ACS-BG600
JPAA-11-011			ACS-B600
JPAA-11-012	ACS-B200		
JPAA-11-013	ACS-B50		
JPAA-11-014	ACS-B51		
JPAA-12-001	東西化学産業(株) (連絡窓口) 東京機械営業部 TEL:03-5566-0601	自動型循環ろ過装置	APF-12P
JPAA-12-002			APF-18P
JPAA-12-003			APF-25P
JPAA-12-004			APF-35P
JPAA-12-005			APF-50P
JPAA-12-006			APF-70P
JPAA-12-007			APF-100P
JPAA-12-008			APF-125P
JPAA-12-009			APF-150P
JPAA-12-010			APF-200P
JPAA-12-011	APF-225P		
JPAA-13-001	日本フィルコン(株) (連絡窓口) 工業製品事業部 水処理製品部 TEL:04-2935-1110	手動珪藻土式ろ過装置	P-030M
JPAA-13-002			P-040M
JPAA-13-003			P-060M
JPAA-13-004			P-090M
JPAA-13-005			P-120M
JPAA-13-006		全自動珪藻土式ろ過装置	P-030ME
JPAA-13-007			P-040ME
JPAA-13-008			P-060ME
JPAA-13-009			P-090ME
JPAA-13-010			P-120ME
JPAA-13-011	全自動砂ろ過装置	P-005SE	
JPAA-13-012		P-010SE	
JPAA-13-013		P-020SE	
JPAA-13-014		P-030SE	
JPAA-13-015		P-040SE	
JPAA-13-016		P-060SE	
JPAA-13-017		P-090SA	
JPAA-13-018		P-120SA	
JPAA-13-019		P-150SA	

協会事務所が移転しました

協会事務所が、平成18年11月1日 下記に移転しました

〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-8-5

パレ・ドール池袋206号

電話 03-6907-8977 FAX 03-6907-8978

電話番号, FAX番号も変わりましたので、ご注意下さい。

尚、E-mailとURLに、変更はありません。

E-mail jpaa@sepia.ocn.ne.jp

URL <http://www.jpaa.com/>

第30回

通常総会の開催

平成18年11月28日(火)午後3時30分より東京都千代田区霞ヶ関1-1-1法曹会館にて、第30回通常総会を開催した。

会議は定刻に事務局の開会挨拶に始まり、野崎貞彦会長の挨拶、厚生労働省健康局生活衛生課・課長補佐清原宏真殿の来賓挨拶に続いて、稲葉俊明氏を全会一致で、議長に選出した。

次に定足数の確認を行い、正会員21社に対し委任状を含め出席数21社により、定款第24条に規定する過半数の定足数を超えたので、総会が成立したことを確認し、引き続き議案の審議に入った。

議案の審議結果

- 第1号議案 議事録署名人の選任の件
稲葉俊明議長、三浪善吾氏、中裕一氏を全会一致で選出した。
第2号議案 会員及び役員に関する件
事務局より報告され、全会一致で原案通り承認された。
第3号議案 報告事項の件
事務局より報告され、全会一致で原案通り承認された。
第4号議案 定款改訂の件
事務局より説明され、全会一致で原案通り承認された。
第5号議案 協会 新宿事務所 売却の件
事務局より説明され、全会一致で原案通り承認された。
第6号議案 平成19年度事業計画の件
事務局より説明され、審議し、全会一致で原案通り承認された。
第7号議案 「水泳プール管理マニュアル」作成基金の運用の件(内規)

事務局より説明され、全会一致で原案通り承認された。
第8号議案 平成19年度予算計画の件
事務局より説明され、審議し、全会一致で原案通り承認された。
16時30分に全ての議案を終了し、総会は閉会した。
尚、総会終了後出席者による懇談会を実施し、活発な情報交換と旧交を温めた。

第2号議案 会員及び役員に関する件

- 1. 会員に関する件
(1) 退会(2名) (敬称略)
・個人会員 大平忠右、田中健
(2) 入会(10名) (敬称略)
・個人会員 佐藤武義、江夏哲也、河田繁治、中村誠治、川南匠人、阿閉欣也、境勝則、鈴木一司、澤一真、服部徳泰
2. 役員に関する件
(1) 理事辞任(1名) (敬称略)
・濱田 昭 昭和大学名誉教授
(2) 副会長就任(1名) (敬称略)
・大井田 隆 日本大学医学部教授

第3号議案 報告事項の件

- 1. 事業推進状況
・調査研究 「プール施設管理士講習会」の平成19年度開催を目標に、プール施設設備機器類の点検、維持管理の詳細の調査研究を実施している。
・プール衛生管理者講習会 (開催月と受講者数)
第83回沖縄(4月76名)、第84回東京(5月80名)
第85回大阪(6月94名)、第86回東京(9月74名)
第87回福岡(9月49名)
尚、第86回講習会は会場を、札幌から東京に変更した。
・講演会 6月22日「水泳プール水の循環水の流体解析」講演会を開催した。(講師:龍谷大学理工学部塩見助教授)。
・機器規格認定事業 2社30機種を審査し、認定した。
・情報提供、コンサルティング事業 省略
・広報活動 省略
2. 管理業務
・新事務所を購し、11月に移転した。(新事務所住所)
〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-8-5パレ・ドール池袋206
TEL 03-6907-8977 FAX03-6907-8978

第4号議案 定款改訂の件

協会事務局が移転したことにより、定款第2条(事務所)の住所を新事務所住所に改訂する。

第5号議案 協会 新宿事務所 売却の件

新宿の事務所は適正価格で売却する。

第6号議案 平成19年度事業計画の件

- 1. 調査研究事業
・プールの衛生基準に関する調査研究を委託事業及び受託事業を含めて実施する。尚、具体的な案件に関しては、今後企画運営委員会にて、検討を行う。

2. プール衛生管理者講習会事業

- プール衛生管理者講習会開催日程
第90回 平成19年 5月17,18日/東京
第91回 6月 7,8日/大阪
第92回 9月13,14日/仙台
第93回 9月27,28日/福岡
第94回 平成20年 2月14,15日/東京
第95回 3月 6,7日/大阪
(一部日程が変更される場合があります)

3. プール施設管理士講習会事業

東京、大阪を中心に地方を含めて、年5~6回の開催を目標に企画中。

4. プール機器規格認定事業

プール機器規格認定制度のPR活動を促進する。

5. 情報提供事業

- ・機関紙「プールアメニティ」発刊スケジュール年2回
・ホームページの「TOPICS!」の随時メンテナンス

6. プール衛生管理基準に関するコンサルティング事業

電話・FAX・インターネットでの「相談室」回答他

7. その他

「水泳プール管理マニュアル」の改訂作成を開始する。他

第7号議案 「水泳プール管理マニュアル」作成基金運用の件(省略)

第8号議案 平成19年度予算の件(省略)

正会員名簿

(平成18年11月28日現在)

Table with 4 columns: 会社名, 窓口, 電話番号, and a fourth column with various codes. Lists member companies like 株式会社アスカ, 株式会社東工業, etc.

(五十音順)

役員名簿(全役員非常勤)

(期間:平成18年9月20日~平成20年9月19日) (敬称略)

Table with 4 columns: 役職, 氏名, 会社名, 所属・役職. Lists board members like 野崎 貞彦, 大井田 隆, etc.